

「支え合い、学び合うネットワーク」



## 世田谷区介護サービスネットワーク NEWS No,9

### ○研修報告「ケアプランデータ連携システム・介護情報基盤について」

- ・日時: 令和8年2月13日
- ・会場: 世田谷区福祉人材育成・研修センター
- ・参加者: 68名



世田谷区介護ネットワーク主催の研修を開催しました。世田谷区高齢福祉部介護保険課事業者支援担当係長安田様から情報システムの整備についての目的、制度の法的根拠、個人情報の取り扱い、導入スケジュール等の説明をいただきました。質疑応答の時間では事業所の費用負担増等の不安な声も聞かれました。今後とも世田谷区として事業者支援を継続していただけるとのことでした。

研修資料は当ホームページの「お知らせ」欄に添付しています。

### ○議事録 第11回世田谷区介護サービスネットワーク運営委員会

- ・実施日時: 令和8年2月17日(火)18:30~19:30
  - ・参加者: 徳永、磯崎、山口、丸山、佐伯、水口、上保、柴田、桑谷、富樫、國居
  - ・区: 介護保険課 安田係長・横倉
  - ・研修センター: 木本センター長、枝係長、村木
1. 世田谷区からの報告(介護保険課 安田係長)
    - (1) 令和8年度 介護職員等処遇改善加算について

2月10日付の介護保険最新情報(Vol.1469)にて、処遇改善計画書の提出期限に関する通知

があった。

提出期限(予定)

① 4月・5月から算定する場合:4月15日

② 6月から算定する場合:6月15日

新様式の案は2月下旬に提示され、確定版は3月中旬頃に厚労省HPにアップされる見込み。

詳細については、本日区からメール配信を行っているため確認すること。

(2)職場環境等要件(東京都補助金)について

東京都の補助金に関する締め切り等の情報は、都の動きがあり次第、区からも同報メール等で周知を行う。

(3)メール配信登録のお願い(メール情報便)

区内の事業所で、メールアドレスの登録が済んでいない事業所が約2割程度残っている。

FAXでの情報提供がなくなるため、未登録の事業所には登録を促している。1事業所につき3件まで登録可能。担当者変更等による情報の取りこぼしがないよう、複数登録を推奨する。

2. 研修センターからの報告(木本・村木)

(1)シンポジウムの開催のお知らせ

「これからの世田谷の福祉を考える」シンポジウム～「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現～

日時：3月23日(月)18:30～20:30頃(予定)

第1部：基調講演「これからの世田谷の福祉にもとめられるもの」

講演：中村 秀一 氏

第2部：実践報告・意見交換

コーディネーター：中村 秀一 氏

シンポジスト：山口 潔 氏、田中 美佐 氏、佐藤 庸平 氏、徳永 宣行 氏、瓜生 律子

対象：医療・福祉サービス事業所の職員等

詳細決定後、チラシにて周知を行う。

## (2)福祉用具連絡会研修の案内

福祉用具連絡会主催の研修チラシを FAX 送付済み。後日会員には、メールでも案内予定。

詳細は、福祉用具連絡会桑谷代表の報告参照(3 ページ目「4. その他報告」)。

## 3. 協議・質疑応答

### 【議題】

「ケアプランデータ連携システム・介護情報基盤について」

先日の研修会(2月13日開催)の振り返りおよび、データ連携システムの現状と課題について意見交換が行われた。

### 【質疑応答】

質問1(山口)

データ連携システムに対応するために介護ソフトを乗り換える場合、助成金はあるか。

回答(安田)

今年度の東京都の ICT 導入支援事業(生産性向上関連)は受付を終了しているが、来年度も国の補正予算等で実施されると思われる。申請期限が早い傾向にあるため、早めの申請を推奨する。

質問2(山口)

ケアプランデータ連携システムの普及が進んでいない。特に小規模事業所では、電子証明書の仕様(パソコン1台に限定される等)や事務負担がネックとなっている。また、システム自体の仕組みやメリットが現場に伝わっていないため、区としてサポートできないか。

回答(安田)

来年度、区として新規事業を立ち上げ、データ連携システムの導入・運用支援を行う予定である。

- 支援内容: パソコンのセットアップ、システム環境に応じた事務フローの見直し、フォローアップ

等を手厚く行う。

- 方針：区の事業として実施することで、事業者が相談しやすい体制を作る。また、区からも積極的に導入の働きかけ(アウトリーチ)を行う想定である。

#### 【主な意見・要望】

徳永代表：研修会では、マイナンバーカードとの紐づけや個人情報の扱いについて不安の声があっ

た。現場は多忙であり、新しいシステム導入に対する「面倒だ」「業務負担が増える」というアレルギー反応が強い。導入によるメリットや具体的な運用イメージを伝える必要がある。

富樫：事業団としても導入を進めたいが、肝心の連携先(居宅介護支援事業所など)が導入して

いないため、費用対効果が得られないのが現状である。メールでのデータ送付すら断られるケースもあり、ITリテラシーの底上げも必要ではないか。

桑谷：福祉用具事業者は導入しているところが多いが、ケアマネジャー側の導入が進んでいな

い。ケアマネジャー側が一斉に導入すれば、サービス事業者も追随するはずである。

#### ※情報提供

安田係長：WAM NET(ワムネット)にて、データ連携システムの利用事業所を検索できる

サイトが公開されている。導入済み事業所の確認に活用してほしい。

WAMNET: ケアプランデータ連携システム利用状況

URL: <https://www.wam.go.jp/wamappl/kpdrsystop>

#### 4. その他報告

(1)令和8年度管理者養成講座(磯崎)

次年度も「管理者養成講座(第4期)」を企画中。研修センターを会場に月1回開催予定。詳細

確定後に案内

(2)福祉用具連絡会主催研修(桑谷)

「車いす研修～チルト&リクライニングの構造と操作 標準型車いすでのシ  
ーティング～」

【日時】 令和8年3月13日(金) 16:00～18:00 ※途中入退出可能

【場所】 世田谷区立保健医療福祉総合プラザ 1階 研修室C

【講師】 (株)カワムラサイクル

(株)松永製作所

【定員】 30名(先着順) ※会員事業所優先

【参加費】 無料

【申込方法】 2次元コードまたはURL(Googleフォーム)から

URL: <https://forms.gle/1cRVTRsY22pPvTFM9>

【申込締切】 令和8年3月10日(火)23:59

※その他:終了後に打ち上げを予定。



2次元コード

次回運営委員会:令和8年3月17日(火)18:30～